



## 町民体育祭 盛会に終わる

第18回町民体育祭は、秋晴れに恵まれた8月31日、全県初の第2種公認全天候型陸上競技場に、町民およそ3,000人が参加、各種目に選手、役員、応援団が一体となり大きな盛り上がりを見せました。

(関連記事6、7ページに)

### 人口と世帯数

(住民基本台帳による)

8月31日現在	(前月比)
総人口 25,543人	(23人増)
男 12,504人	(4人増)
女 13,039人	(19人増)
世帯数 7,123世帯	(4世帯増)

住居表示で公聴会

# 新町名めぐり賛否両論

## ＝学識経験者など9人が公述＝



六月定例町議会で、住居表示特別委員会に付託されていた「宇の区域および名称の変更について」の公聴会が、八月二十一日の両日役場で開かれ、二十一日は町名変更請求のあった三街区から賛成、反対それぞれ一人ずつ、合わせて六人、二十一日は学識経験者三人による公述がありました。同委員会では公聴会での意見を参考に審議を急いでおります。

八月二十一日の公聴会では、町名変更請求のあった三街区から利害関係者六人が出て、おおよそ次のような内容の公述を行いました。第三街区の原案「西横町」に賛

成の坂本道雄さん(60)は、「町内で話し合い、寺町を審議会に提案したが、答申の名称は西横町となっておりいささか不満だが、歴史的に由緒もあり、親しみやすいので賛成だ。」

関係住民が感情的にならぬようお願いしたい。」と述べました。

これに対し反対の大山健治さん(41)は、「関係住民は寺町と審議会に届けたが、答申は西横町であり、これは住民無視の決定でありその過程に問題がある。」

変更請求の時点で提出した米代町は、米代川が流れる

県北の中心地に位置する当町にとつて、まことにふさわしい町名だ。

と意見を述べました。

第四街区の原案「仲新町」に賛成の長谷川真一郎さん(74)は、「関係町内で六度も会合を重ね、出席者全員の賛意で決定したものだ。直接発祥地につながる町名でないが、従来からある栄町、住吉町では地域感情もあつて決定できない。町の中心地であり、協力し仲良くしていく意味で妥当なものである。」と述べ、反対の佐藤良市さん(48)は、「町内の話し合いでは栄町と住吉町が相譲らず、新町名をつけることにしたが、歴史的名称を無視した仲新町では納得できない。その決め方にも承服できないものを感じる。」と公述しました。

また、第七街区原案「寿町」に賛成の亀山米蔵さん(62)は、「原案は、わかりやすく、めでたい名称でもあり、うるおいがあり格調が高い。字画も七画で書きやすく、全国的になじみのある町名である。」と述べました。

反対の高橋良昌さん(59)は、「寿町は街区に縁もゆかりもない。花園町は、昔の花畑からきたもので親しまれてきた。審議会では寿町支持派の意向をとり、投票により決着をつけたことは住民感情を阻害する結果となり、きわめていかんである。」と述べました。

二十一日は、引き続き学識経験者三人が公述しました。

最初に立った神成治治さん(71)は、「原案も大変よいと思うし、町名変更請求のあった対案も捨てがたい。問題もあるようだが住民

の民意を参しやくして決定すべきであり、後日にしこりの残らないよう、早急に決定する重要性はないと思う。」と述べるとともに、「原案と変更請求の町名に決着がつかない場合、第四街区は栄町に、第七街区は中央町はどうか。」と公述しました。

二人目の佐藤仁吉さん(72)は、「現在の町名は二十五年の大火後にできたもので、住民はそれぞれ愛着もあり、どうかと思う。住民にもっと住居表示の主旨を行政の合理化として理解させるべきであり、時期早尚である。」と公述しました。

最後に五十嵐謙さん(68)は、「町に住んで二十年になるが、いまだにわからない字名がある。とにかく一日も早く実施してほしいという気持ちだ。住民は、とかく全町の立場で判断するという事が不足しているように思うので、当局と議会の良識と努力を期待する」と述べるとともに、「米代町、大町を二大通として区割できなかったが、原案の寿町、旭町の街区は一割区としては広いので二分できないか。実施区域に舟見町、田中まで含めることができないか。原案の町名決定までの一連の過程が住民に理解されていないのが、多少の対立の一因ではないか。」と公述しました。

二日間の公聴会全体を通して感じたことは、住居表示の必要性は認めながらも、両者に歩み寄りがみられず、住居表示特別委員会に収拾と決断を仰ぐというニュアンスの発言が目立ちました。

ほくもわたしも日本人

# 国勢調査にご協力を!!

＝10月1日＝

もうすぐ十月一日——国勢調査の行われる日です。

国勢調査は、全国・都道府県・市区町村の人口や世帯数、年齢別の世帯の構成を明らかにして、国はもちろん、都道府県や市区町村の地域社会に直結する行政に役立つ基本的資料を得るために行われるものです。

### 【調査項目】

男女の別、出生の年月、世帯構成、就業状態などのほか、現住居への入居時期、通勤・通学先と利用する交通手段——など、全部で二十二項目。

### 【調査員】

町全体を百五十二の地区に区分して、国勢調査区が設けられています。

調査員は、九月二十四日から三十日までの間に、みなさんのご家庭を訪問し、調査票をお配りします。

ご記入いただいた調査票は、十月一日から五日までの間に調査員がお伺いしますから、その時お渡しください。

なお、調査員がお伺いする時期に留守だったり、調査票を直接調

査員に提出するのが困るという方は、早めに国勢調査担当係までご連絡ください。

### 【調査票】

ご記入いただいた調査票は、国(総理府統計局)に集められ、そのまま光学式マーク読取装置という機械にかけて集計されます。この機械は、文字がわくからは

み出していたり、調査票が折れたり、曲がったり、汚れていたりすると正確に読み取ることができない場合がありますので、十分ご注意ください。

なお、筆記用具は必ず「黒鉛筆」をお使いくださるようお願いいたします。万年筆やボールペンは、たとえ黒でも絶対にご使用ならないように。黒鉛筆以外は、「読取装置」が作動しません。

### 人口当て懸賞募集………

町と県では、十月十日の国勢調査による人口数を当てる懸賞募集を行っています。締め切りは、いずれも九月三十日(当日消印有効)。くわしい募集要項は、広報たか

## 小猿部物語を発売

### 七日市出身の長岐さん

七日市出身の郷土史家・長岐喜代治氏(69・秋田市手形谷地93-1住)が、このほど小猿部物語I

「殿様の巻」(A5版一四四頁)を発売しました。小猿部物語は、三百年にわたる記録が残されている七日市長岐エイさん所蔵で、県立図書館に寄託している「長岐文書」を、著者が系統的にわかりやすく解説したもので、中学生でもわかるようにまとめられています。今回発行した第一巻は、「殿様の巻」で、佐竹藩主が地方巡回したとき、村の人



小猿部物語(1) 殿様の巻

たの送迎がどのようなに行われたかをくわしく紹介しており、第一部の四代藩主佐竹義格から第四部の殿様の行列順序までいれてあり、最後に「長岐家の由来について」考察しています。

また、著者の長岐さんは、「長岐文書」に取組んで十五年になるといいますが、今回の第一巻に続いて第二巻もことしの十一月に発行したいと原稿を整理中で、最終的には第七巻まで発行する計画とあります。

なお、小猿部物語は各巻とも一千部を印刷、希望者には実費(一巻目は八百円)で頒布しておりますので、購読したい方は、七日市農協が長岐エイさん方でお求めください。



のす九月一日号八ページに掲載。 ※五十年国勢調査人口〓町二四、七四二人、県一、二、三二、四八一人。

## 町長日誌

8月16日～8月31日

- 16日 交通対策特別委員会
  - 17日 子ども会相撲大会
  - 19日 青山荘盆踊り大会
  - 20日 町議会臨時会
  - 20日 視察
  - 21日 住居表示公聴会
  - 21日 町長と語る会〓小ヶ田商工青年部との懇談会
  - 22日 住居表示公聴会
  - 22日 西部地区米代川水系改修促進期成同盟会総会
  - 24日 南鷹巣町内運動会
  - 25日 五十四年度決算監査
  - 26日 内外情勢調査会〓大館市町商工業振興協議会地域問題に関する懇談会
  - 27日 森吉町外四力町村病院組合議会定例会
  - 28日 鷹巣阿仁広域市町村圏組合計画審議委員会
  - 29日 秋田さきがけ政経懇談会、県の記念日、鷹角線敷設期成同盟会〓秋田市第十八回町民体育祭
  - 31日 議会
- 8月16日～8月31日
- 16日 交通対策特別委員会
  - 20日 町議会臨時会
  - 21・22日 住居表示公聴会
  - 26・29日 建設水道常任委員会
  - 29日 県北三郡町村議長連絡協議会
  - 議案
  - 北秋田地区商工業推進協議会地域問題に関する懇談会

生きがいのある社会づくりは

3つの輪



と



と



このところ全国的に「孤独な老人」がふえています。警察庁がまとめた「自殺白書」(「54年中の自殺者」)により、昨年一年間の全自殺者のうち、六十五歳以上のお年寄り、は四千九百九十九人で、「年代層別ではトップ」という悲しい数字を記録しています。... (text continues)

パパの「餌箱」

有名なグリム童話にこんな話があります。年老いた父と、イタズラ盛りの子供を持つ農夫がいました。この農夫は、年老いた父が食べ物をこぼしたり、皿を割るのを見て、木の鉢を与え、家族から離れたところで食事をさせていました。ある日、農夫は子供が小さな板切れを集めているのを見つけました。...

めに、これで「餌箱」を作るんだ。

その日以来、祖父が一家と同じ食卓につくようになったのはいうまでもありません。

この寓話は、私たち人間の心の裏側に実に巧みに描き出されています。とくに戦後、核家族化が急速に進んだ日本では、残念ながらこの童話に登場するような孤独な老人がふえているのもまた事実なのです。警察庁の「自殺白書」でも、自

殺の原因や動機は一番が病苦で、②アルコール中毒症・精神障害③家庭問題④経済生活問題の順となっております。これを前年と比べますと、経済問題が二位から四位に後退していますし、ここにも「生きがい」など、心の問題が多額の老人を死に追いやっていることが、はっきり表われています。

一人の

老人を借りよ

老人の「生きがい」とは何でしょうか。総理府老人対策室の行った「老人の社会参加に関する調査」(昭和五十三年)によりますと、トップは「息子や孫の成長」で三二%、二位が「職業・仕事」二二%、「趣味・娯楽」が一五%と続いております。「社会活動」をあげた

人は、わずかに四%に過ぎません。そして問題なのは「生きがいを持たない」と答えた老人が二九%もあるという事実です。「息子や孫の成長だけ」と「生きがいなし」を加えますと、実に六一%にもなり、ここに受け身で孤独な「現代の老人像」が浮かび上がってくるのです。ギリシャの古いことわざに「家に一人も老人がいなかったら、一人借りよ」というのがあります。つまり老人の長い人生経験で培われた知恵は、人間社会の中で不可欠だということを意味するのでしょうか。これを現代の日本に置き換えるなら、「明治の知恵と、大正人のロマンと、昭和人の行動力」で、「明るく生きがいのある社会をつくり出そう」ということになるのではないのでしょうか。



敬老の日

「敬老の日」で湯のまちに妻といて「ある老人クラブの会員の句です。敬老の日に、妻と二人で温泉

旅行をしたという、幸せな情景ですが、「妻といて」という言葉の中には、長い人生航路を共に歩んできた老妻に対する気持ちと同時に、「二人ぼっち」という寂しさも感じられます。九月十五日の敬老の日が、国民の祝日と定められたのは昭和四十一年のことですが、いまではもう秋の行事のひとつとして俳句の季節になるほど親しまれています。

この日は、多年にわたって社会に尽くして来た老人を敬愛し、長寿を祝い、また国民すべてが自分の老後に関心を持つ日でもあります。最近では、警察庁が発表した「五十四年中の自殺者」の中で、もつとも多いのは六十五歳以上の高齢者で、自殺者全体の二三・二%を占めているとい

うのは考えさせられる数字です。敬老の日には、きまってる老人の自殺者の話題が新聞にのりますが、実は全国で毎日平均十四人近くもの老人の自殺者があるのです。「高齢者問題の現状」(総理府)によると、六十五歳以上の老人はいま全国で一千万人以上、それが四十年後の昭和九十五年(西暦二〇二〇年)には二千六百万人と推計されています。敬老の日にあたり、あらためて「高齢化社会」について真剣に考えたいものです。

# 長寿お祝い 申しあげます

＝最年長は田中トキさん (96歳)＝



成田 茂助さん



照内 忠吉さん



佐藤武右エ門さん



田中 トキさん



神成 リエさん



岩谷 ツヨさん

九月十五日は、多年にわたる社会につくした老人を敬愛し、長寿を祝う「敬老の日」です。

町では、この日を中心に、各地区ごとに敬老式を開き長寿をお祝いします。

ところ、当町の七十歳以上の方は男七百三十四人、女一千十五人、計一千七百四十九人と、昨年より男で二十二人、女五十六人、計七十九人が多くなっています。

年齢別では、七十歳から七十九歳までが一千三百八十八人、八十歳から八十九歳までが三百四十一人、九十歳以上が二十人となっています。

また、地区別の七十歳以上の方は▽鷹巣〓五百四十四人(男二百三十四人、女三百十三人)▽栄〓百十人(男四十

六人、女四十四人)▽綴子〓三百四十一人(男百四十八人、女百九十三人)▽坊沢〓百六十三人(男六十六人、女九十七人)▽七座〓百一十一人(男四十三人、女六十八人)▽沢口〓百九十七人(男八十九人、女八十八人)▽七日市〓二百一人(八十一人、百二十人)▽青山荘〓七十九人(男二十七人、女五十二人)で、最年長者は、青山荘の田中トキさん九十六歳です。

町では、敬老式で七十五歳から七十九歳までの方にシール、八十歳以上の方に三千円の祝金、それに八十八歳の方には銀盃を贈り、それぞれ長寿を祝います。

なお、当町の男女別二十名の長寿者は、下記表のとおりです。

## 昭和55年男女別長寿者ベスト20

(昭和55年9月5日現在)

氏名	生年月日	年齢	住所	順位	氏名	生年月日	年齢	住所
成田 茂助	明治18. 12. 22	94	相善町	1	田中 トキ	明治17. 4. 2	96	青山荘
照内 忠吉	20. 1. 10	93	向黒沢	2	神成 リエ	19. 11. 13	93	青山荘
佐藤 武右エ門	21. 10. 26	91	坊沢大町	3	岩谷 ツヨ	20. 4. 20	93	摩当
佐藤 金吉	21. 12. 5	91	青山荘	4	出川 テン	20. 6. 4	93	糠沢
米沢 信喜	23. 10. 15	89	糠沢	5	左近司 キヨ	21. 1. 3	92	末広町
小貫 七治	24. 1. 25	89	駅前	6	佐藤 クラ	21. 2. 27	92	小森
桜庭 弥一	24. 3. 7	89	舟見町	7	河田 キヨ	21. 9. 17	91	太平町
畠山 長一郎	24. 4. 29	89	与助岱	8	松前 キヨ	21. 9. 20	91	本郷3
高橋 善蔵	24. 10. 3	88	綴子上町	9	近藤 トヨ	21. 12. 1	91	小森
松尾 利一郎	24. 11. 5	88	太田	10	本城 サン	22. 1. 25	91	藤株
米田 米太郎	25. 2. 16	88	青山荘	11	戸沢 ミネ	22. 8. 19	91	前山
沢田 昌次郎	25. 5. 23	88	末広町	12	沢田 ミサ	22. 9. 25	90	前山
花田 松三郎	25. 8. 20	88	脇神	13	長谷川 アサ	22. 12. 12	90	太田
谷地田 一祐	25. 11. 12	87	吉野	14	堀部 セツ	23. 1. 7	90	葛黒
村井 松太郎	25. 12. 4	87	北新町	15	藤田 サツ	23. 9. 2	90	前山
桜庭 嘉吉	26. 2. 1	87	蟹沢	16	藤岡 サト	23. 9. 4	90	青山荘
折原 喜一郎	26. 2. 20	87	三吉町	17	相馬 ノエ	23. 10. 23	89	上舟木
神成 利三郎	26. 9. 7	87	幸町	18	近藤 サタ	23. 11. 1	89	青山荘
佐藤 松	26. 9. 26	86	羽立	19	乳井 キノ	24. 4. 10	89	青山荘
渡辺 勝蔵	26. 11. 22	86	昭和	20	工藤 ヨシ	24. 5. 2	89	新松葉町

# 第18回町民体育祭



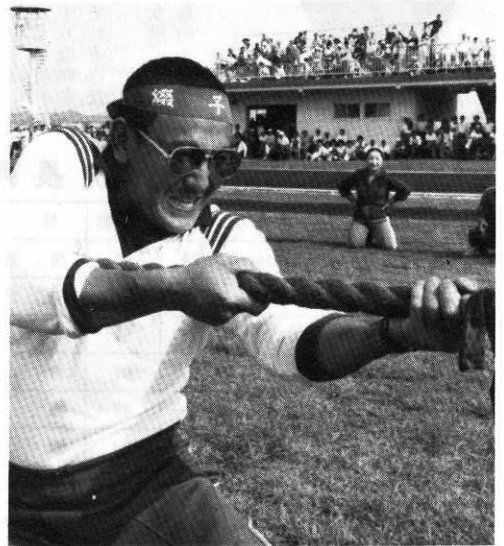
## 晴天に恵まれ熱戦を展開 全天候型グラウンドに運営も抜群

第十八回町民体育祭は、秋晴れの八月三十一日鷹巣陸上競技場におよそ三千人が参加して盛大に行われました。

当日は、前日までの悪天候がうそのように、朝から明るい日差しの中、開会式の始まる午前九時三十分までには各地区からの選手、応援団がぞくぞく詰めかけ、午前十時、小学校女子四百リレーから競技が開始されました。

競技は、新装になった第二種公認全天候型陸上競技場で、各種目ともプログラム時間どおりスムーズにすすめられ、熱戦のうちに予定どおり午後三時十分から閉会式が行われました。

参加者からは、「施設、設備ともすばらしく、走りやすい」と、称賛の声がきかれ、全県一の「オーラが競技場」と自慢していました。



こころに精魂を傾ける（綱引き）

各部門と総合の成績順位は次のとおりでした。

- 〔生徒の部〕 ①鷹巣八十点 ②綴子六十六点 ③坊沢五十点 ④栄 ⑤沢口 ⑥七日市 ⑦七座
- 〔青年の部〕 ①綴子百十五点 ②沢口六十八点 ③坊沢六十六点 ④鷹巣 ⑤七日市 ⑥七座 ⑦栄
- 〔婦人の部〕 ①沢口百七十八点 ②綴子百八十八点 ③坊沢百点 ④鷹巣 ⑤栄 ⑥七日市 ⑦七座
- 〔壮年の部〕 ①沢口百七十八点 ②綴子百五十一一点 ③鷹巣百三十一一点 ④坊沢 ⑤七座 ⑥栄 ⑦七日市
- 〔総合〕 ①綴子四百四十点 ②沢口四百九点 ③鷹巣三百五十九点 ④坊沢三百四十五点 ⑤栄百八十三点 ⑥七日市百六十三点 ⑦七座百五十三点



壮年（50歳台）八百リの力走



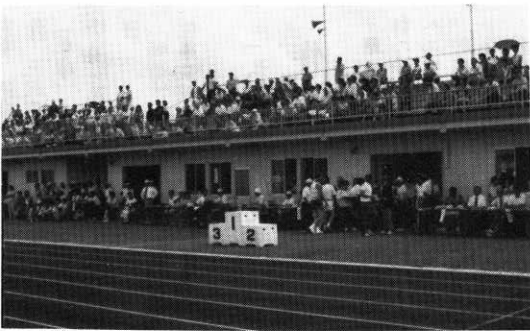
チームワークが第一（ボートリレー）

(7) 昭和55年 9月15日

堂々の入場行進 (沢口地区婦人部)



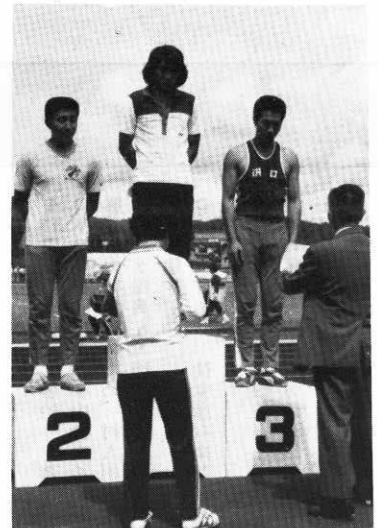
スタンドいっぱい応援団



「応援賞」を獲得した鷹巣地区

### スポーツ栄光賞

五十四年度において、各種スポーツに活躍した選手をたたえる鷹巣町スポーツ栄光賞に、次の八個人と四団体が決まり、町民体育祭の開会式で表彰を受けました。



各種目ごとに表彰台で栄光をたたえる

- ▽ 遠藤昭夫 県体及び全県バドミントン総合選手権でダブルスとシングルスで優勝
- ▽ 神成健一 県体軟式庭球大会一般男子の部で優勝
- ▽ 佐々木勇美子 同女子の部優勝
- ▽ 神成寿寛 県体及び県民スポーツ大会教員の部で優勝
- ▽ 津谷徳男 県民スポーツ大会Bクラス男子砲丸投優勝
- ▽ 花田光子 同女子優勝
- ▽ 高坂勇治 同Dクラス走幅跳優勝
- ▽ 出川喜英 全県青年体育文化祭男子百メートル優勝
- ▽ 庭球協会 県民スポーツ大会軟式テニスAゾーン優勝
- ▽ 陸上競技協会 同市町村対抗四百メートル男子・女子優勝
- ▽ バレーボール協会 同男子の部、壮年の部及び全日本九人制総合選手権大会県予選で優勝
- ▽ 町連合青年会 全県青年体育祭男子バレーボール及び男子八百メートルで優勝

第34回秋田県青年体育祭



町連合青年会 各種目で大活躍

第三十四回秋田県青年体育文化祭は、八月二十二日から三日間、秋田市で開かれましたが、鷹巣連合青年会は男子バスケット、バレー、卓球に優勝したほか、陸上で九種目で一位となり、十一月月上旬東京都開かれる第二十九回全国大会に、優勝したチームと個人およそ四十五人が、県代表として出場することになりました。

- ▽男子百斤 ①高橋智 ②同二百斤 ③出川喜英 ④同五百斤 ⑤熊谷芳広 ⑥同三段跳 ⑦藤島茂樹 ⑧同八百斤リレー ⑨出川喜英 ⑩高橋智 ⑪村上幸義 ⑫藤島茂樹 ⑬同スエーデンリレー ⑭出川喜英 ⑮高橋喜久雄 ⑯高橋智 ⑰藤島茂樹 ⑱同千五百斤 ⑲高橋喜久雄 ⑳同三種 ㉑浪岡正幸 ㉒(男子バスケットボール) ㉓長岐満 ㉔長岐兼雄 ㉕布田久人 ㉖長岐真 ㉗長岐敏和 ㉘近藤実 ㉙藤島悟 ㉚島山和行 ㉛山内幸男 ㉜佐藤忠裕 ㉝三浦堅司 ㉞相馬真人 ㉟(男子バレー) ㊱①佐藤薫 ㊲佐藤孝志 ㊳出川信久 ㊴小塚和久 ㊵岩川

純一 篠内哲哉 工藤一成 武内光幸 武藤満 長崎幸雄 長崎勝作 三沢克芳 (卓球) ①佐藤元範 照内直光 松尾陽悦 日下部まり子 成田昭子 (剣道) ③佐藤秋弘 長岐英俊 佐藤益雄 松岡政行 近藤輝雄

「あきたの文芸」 作品募集

県教育委員会では、秋田県芸術祭の一環として「あきたの文芸」への文芸作品を募集します。応募資格は、県内在住者で満二十歳以上の方。募集作品は、▽詩 本文四十行以内、▽短歌 詠草十首、▽俳句 雑詠十句、▽川柳 雑詠十句、▽小説 (児童文芸、戯曲を含む) 四百字詰原稿用紙三十枚前後を基準、▽評論 (文芸研究を含む) 小説に同じ。となっており、各部門とも作品題は自由ですが、必ず題名をつけてください。作品は、すべて四百字詰原稿用紙にかいて書で記入し、一枚目に応募部門、作品題名、作者名(ペンネームの場合には本名を( )書き)、住所、性別、年齢、職業、連絡電話番号、所属同人誌名、作家歴を明記、未発表のものに限り、縮め切りは、十月末日、審査結果は十二月下旬、県内新聞紙上に発表します。送り先は、秋田市山王四丁目一の二 秋田県教育庁文化課「あきたの文芸」係。

郷土史年表

西暦	文化年号	事
一八一三	文化一〇	○七月十二日 大患南風にて稲不熟、小百姓困窮し余力ある百姓これを救助す。
一八一四	文化一一	○二月 去秋不作につき藩より救米及び助成米 五石八斗五合下附さる。○糠沢村家下水門及び樋破損につき書替す。
一八一五	文化一二	○十月二日 この水門建替につき掛泥村野形より土くれ運び論争となる。○綴子の高橋八郎兵衛武光が、新田開発に功あり御紋御持を拝領す。○昨秋の不作につき、藩より救米及び助成米 八石一升四合下附さる。○春、大館役屋より早口山、摩当山、糠沢山にて、青物取御免の印紙下附される。○七月十六日 山徳盛りの時大洪水にて田畑一円水押となる。○三ツ屋岱を開発し、鷹巣せきより分水をうける協議ととのう。○坊沢 佐藤武右衛門 三ツ屋岱開発に功あり、藩より永く苗字御免。二代二人扶持賜わる。○杉田玄白が「蘭学事始」を著した。○鷹巣開拓に功ある小山縫之丞(藤原勝茂縫允) 供養のため、村人相謀り肝煎 三ヶ田兵左衛門、長百姓等の力で墓を再建す。○小人一件あり 徒党彦右衛門 岩館境追放になる。(栄)
一六一六	文化二三	○昨年の洪水にて堰根破損し、藩より普請料足目用銀八十匁六分、助成米二石下附さる。(栄)

(続く)



おしらせ



健康増進普及運動月間

### 「健康とくらし展」を開催

県では、地域住民に健康づくり思想の普及を図るため、九月二十六日と二十七日の両日、鷹巣保健所で「健康とくらし展」を開催します。

会場には、▽生涯健康づくりコーナー▽薬草・正しい薬の知識コーナー▽喫煙と健康コーナー▽合成洗剤コーナーなどが予定されており、多数ご観覧ください。

### 出かせぎされる皆さんへ!!

秋の農繁期が終ると、冬型の出かせぎに出る人が多くなると思われます。しかし、出かせぎに出る方は高齢化しているので、就労先での病気、事故等が大変増えております。

また、就労先での賃金未払いのケース等も考えられますので、出かせぎに出発される前に必ず互助会に加入してください。申し込みは役場商工観光課へ。

### 消防設備士試験

### 準備講習会

秋田県消防設備保守協会では、十一月六日に実施される昭和五十五年消防設備士試験の準備講習会を開きます。

講習日は、十三日〓甲種一類・乙種一類、十四日〓甲種三類・乙種四類、十六日〓乙種七類、十七日〓乙種六類となっております。県正庁で行います。

受講ご希望の方は、秋田市山王四丁目一番一号 秋田県民生部消防防災課内 秋田県消防設備保守協会へ、九月十六日から九月二十九日の受付期間内に申し込みください。受講料は、一日につき会員二千円、非会員三千円。

### 町職員および消防吏員資格試験

### 町および広域消防署では、昭和五十六年度の町職員と消防吏員資格試験を行います。

申し込み受付は、町職員上級試験は九月八日から九月十八日まで、町職員初級と消防吏員試験は十月六日から十月十八日までの期間です。

住所要件として、いずれも▽鷹巣町に住所(住民登録)を有しているもの▽町外に就職または就学のため、鷹巣町から転出した者で、世帯主(両親等)が鷹巣町に住所(住民登録)を有している者となっており、初級・消防吏員試験に大学卒業の方は受験できません。

受験資格等、くわしいことについては、役場総務課庶務係(電話二一一一一)にお問い合わせください。受験申込用紙も同係にあります。

### 七号線道路調査で土地立入りをお願い

建設省能代工事事務所では、道路台帳調査のため、国道七号線綴子字大堤下(畠山自動車商会附近)から田代町長坂深沢(モーター夢附近)までの区間で、九月十日から十二月一日まで、実施調査を行っています。

この区間は、道路敷より宅地側へ左右約二十メートルまで立入り調査することになりますので、建設省では関係者のご協力をお願いしております。

### 県民手帳予約受付

昭和五十六年用秋田県民手帳の予約を受け付けています。購入希望の方は、九月二十日まで役場企画財政課に申し込みください。(電話二一一一一)

## 秋の全国交通安全運動

九月二十一日から九月三十日まで

価格は二百九十円、予約された方には十一月月上旬に配布します。

### 灯油およびガソリンの取り扱い注意

最近、灯油とガソリンの誤用による火災が発生しております。

これから農繁期、冬期間に向い灯油やガソリンを使用することが多くなり、この種の事故が発生する危険性があります。

各家庭においては、取り引き先

### 国民健康保険税

第三期納期限は

九月三十日

なお、ガソリンの運搬、保管等は、鋼製ドラム、金属製容器を使用するようにお願いします。(鷹巣阿仁広域消防署)

## 町職員上級資格試験

- 1、採用予定人員 一般行政事務職員 若干名
- 2、受験資格 昭和26年4月2日から昭和34年4月1日までに生まれた者
- 3、試験日(一次) 10月5日(日)二次試験は一次試験合格者について通知します。
- 4、試験場 秋田県自治会館(県庁うら)
- 5、申込受付 9月8日(月)から9月20日(出)まで「勤務時間内」に役場総務課庶務係(二階)に申し込みください。

### ※住所要件

- (1)鷹巣町に住所(住民登録)を有している者
- (2)町外に就職、または就学のため鷹巣町から転出した者で、世帯主(両親等)が鷹巣町に住所(住所登録)を有している者

※受験申込用紙およびくわしくは、役場総務課庶務係にお問い合わせください。(電話2-1111)

# 中村小学校の ふる里教育を見る

## 若妻学級移動研修

阿仁合線の終点比立内から更に奥へ九、山合いの里に古い木造校舎が建っている。校庭には百周年の記念碑とよく手入れされた花壇がまっ盛りであった。

### 子どもがいるから

全校児童が会食する食堂に案内され、湊正俊校長先生の話を聞く。「子供がいるから学校がある。子供のために、なにをし、なにをやめさせるべきか考えなければいけない。一年間に学校にこない日が百三十日、半日しかこない日が七十日もあるというのに、学校任せで健全育成ができる筈はない。今こそ、学校・家庭・社会が一体となって子供の教育に当るべき時である。」と、前おきしてその経営の実態を説明された。

### 学・社一体で

中村小学校の教育研究は、テーマが「郷土愛に根ざした豊かな心を育てる体験活動」で、すすめ方として。

- 1、ふる里を知る学習活動
- 2、実践的態度を育てる体験



学校のなかにあるふる里室

3、ふる里創造心を育てる活動となっている。計画表にはたくさんの実践項目が並んでいるが、二、三紹介すると、

学校の運動会は地域全体百三十四世帯の老若男女のもので、競技種目もそのようによくまれ、高校生もよく働いてくれる。

毎年行っうキャンプの時の花火大会では、中学生が仕掛人の役を担当してくれている。

毎年、親子で青年の家での一泊研修を行って、県都のいろいろな施設を見てくるか、得ることが大きい。

学校の先生達が研究会行事で忙しい時は、公民館の職員が来て子供の活動の相手をしてくれる。公民館主催の百人一首・老人クラブの凧つくり講習などはよろこばれている。

### 学校の中のふる里室

校舎を一巡した。よくそうじされて床もガラスも光っている。空教室を使った「ふる里室」というのがあり、昔の古道具が集められ、囲炉裏があり、大きなカギのハナにナベがかかっている。子供達はここで昔話を聞き、古くからの家庭行事を再現するという。農器具も種々並べてあった。阿仁マタギ巻物も貼られてあった。

学校規模や学区の条件などから中村小学校の教育を鷹巣にとり入れることは難しい。しかし部落(町村)の健全育成活動のために参考となることの多いことを感じて帰った。

## 部落誌肉



な の か いち  
= 七 日 市 =

七日市農協・南小学校・南中

学校のある七日市本郷は、小猿部川中流左岸台地に開けた古い集落であった。明治初期には八十三戸の細長い街である。台地の下の国道一〇五号線バイパスができたのは昭和四十五年で、以前は、すべてここを通り米内沢方面へゆききしたものである。

今、発刊準備中の「七日市村郷土誌」執筆者村上薫さん、七日市保育園長高泉喜久治さん、根本屋敷・妹尾館・七日市の三部落会長長岐重次さんを訪ねてこの今昔を聞いて歩いた。

六部部邑記によるとこの集落の発生は延慶二年(一三三二)ごろであるという。また、天正(一五七三、一五九一)の初期、長岐家の元祖甚助が南部から、米内沢城主、神成馬の守に用事があって来たとき、大野台から見渡し、開拓定住するならばこの近くがよからうと言われ、水の便を見るため家族をつれて小猿部川の上流まで見廻り、七日間かかったので七日市と名づけたと。

(昭五五・八・二〇発行、長岐喜代治著「小猿部物語」より)

十一代肝煎長岐貞治氏は明治初期の村長として、また県の畜産組合長として献身的な努力をされ、その頌徳碑が建っている。佐竹藩主が地方巡回の度ご主陣に当てられた長岐邸は町の文化財として、文化祭には公開されている。

かつて、小猿部川流域は天杉の豊庫であった。木材はここに流送され、それから軌道で鷹巣に運ばれた。七日市橋の近くに小森区(営林署)がありにぎわったものだという。明治四十二年、郡立農林学校が設立、大正二年、県立となって鷹巣に移転している。

純農村とはいえ、耕地面積が約六十五haで、大百姓は少なかつた。しかし、七日市地区は農家の後継者養成に熱心なところである。基幹集落センターは諸会合に利用されている。



長岐邸

# みんなの広場



ひとりしずか  
湿気のある林内にひっそりと咲いている。花が1本なのでこの名がある。  
(理科センター・阿部達雄先生)

## 長生きと「奉仕」のこと

栄町 長谷川真一郎(74)



寒い北風が夏一杯に然も雨を伴い秋になり今年のことだと思ひます。長生きをし社会に「奉仕」することは、人間としての義務であり、大きな喜びであると思ひます。便利な世の中になつたものの、気をつけなければならぬことが数多くあります。孫たちの教育の問題のこと、非行か

老の日も近ずきました。健康で長生きすることは何よりも有難いと思ひております。さて私たちの年になりますと、親しい友達も段々と少なくなり淋しさを感ずるこの頃です。最近老



## わたしのおじいさん

やさしくてゆかいなおじいさん。ボール遊びで頭にかかるくあたるだけで、「あついでい」と血でも流れたように手でおさえて、大げさな動作をしたり、わたしが部屋に行くとき曲り角にかくれて「わっ」とおどして、よるこんでいる。たまには、あつちむいてほい

## 広報のしおり

### 敬老の日

人はだれでもみんな長生きしたいと思ひています。かわいなお孫さんに囲まれて、おじいちゃん、おばあちゃんとしたわ

ら守るための地域での子供たちとのかかわり合いのことなど、勉強し、微力ながら努力して行きたいと思ひます。

町のお計らいで老人クラブの仮集会所もでき、町民各位の御寄贈、好意により内部も立派になり活動に支障なく会員と共に喜んでおります。私は入会して五年になりました。振り返つてみれば平均年齢をはるかに越えて老人クラブは孫の時代です。

最後に、福祉国家の私達は世間で言う与えられる福祉ばかりにたよらず、前向きな姿勢で求める福祉をよく心にとめて、元気で頑張つて行くことに務めたいと思ひます。

せつせつせなども遊んでくれる、わたしのだいすきなおじいさんです。



東小学校 3年 日下部 公美

いるのは、はた目で見ても気持ちのよいものですが、お子さん連れの若いご夫婦までが一緒になつて、おじいちゃん、おばあちゃん呼ばわりしている風景はいかなものでしょうか。とかく老人扱いされることをきらうこのころ、若い人たちは言葉づかいに気を付けていたのだと思います。

十五日は「敬老の日」と。とくにこの日にかぎってちやほやされたり、齒の浮くような言葉をかけられたりするのをきらうお年寄りのかたが多いようです。お年寄りのかたには、この日を機会になにかたのしみになる贈り物とか、作るよろこびを持たせようものと考えて選んであげたいものです。

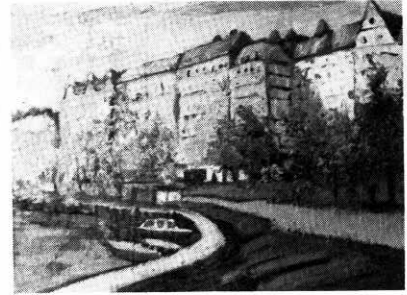
# たかのす文芸

## 「夏の花」

鷹小6年 加賀谷 優子

赤、だいだい、黄色  
人の目にふれる花  
やぶの中でかくれるように  
誰の目にもふれないで  
命を終る花もあるかも知れない  
でも夏の花は  
みんなまぶしい光をあびて  
生き生きと私の目に飛びこんで来る。  
それぞれの形と色の個性が  
私のむねをやさしくつつむ  
一日でしぼんでしまう花に  
別れを告げよう。  
おたがいにひとまわり大きくなって  
また、来年あいましょう……と。

おしらせ



一線美術会会員 九島兼二氏

### 九月の健康相談

成人健康相談は、二十四日です。時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談は、十六日です。時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、沐浴指導と分娩産後の注意について。時間は、午前十時半から十一時半まで。

※場所、いずれも鷹巣公民館保健相談室です。

◇ 離乳食実習指導は、十八日、五十五年二月生まれとなっています。時間は、午前九時半から。乳児

### 尿の汲取り方法 定期的な計画汲取りに

鷹阿二清掃興業では、従来の電話申し込みによるし尿汲取り方法を、10月から定期的な計画汲取りにして巡回することになりました。対象となる地区は、当分の間、旧鷹巣町内と一部地域とし、需用家庭から汲取りの希望回数(月に1回または2カ月に1回)を書いて申込書を提出していただき、電話申し込みがなくても汲取りをするものです。

一応、町内の組み合わせおよび定期巡回日は別表のとおり計画しておりますが、くわしくは鷹阿二清掃興業(電話2-1553)にお問い合わせください。

曜日	町内名
第1週	月 太平町、北新町
	火 三吉町、桜木町、元新町
	水 仲町、大町
	木 舟見町、西横町、仲町、大町
	金 福住町、駅前、松葉町、新松葉町、北新町
第2週	月 北新町、松葉町、新松葉町、西住吉町、東住吉町、米代町
	火 元新町、西住吉町、東住吉町、柴町、米代町
	水 柴町、西仲通
	木 大町、学校通、旭町
	金 材木町、駅前、新松葉町、東仲通、掛泥
第3週	月 米代町、新松葉町、東仲通、末広町
	火 花園町、西仲通、東旭町
	水 伊勢町、森館町、旭町、新旭町
	木 新舟見町、東横町
	金 西旭町、東旭町、新旭町
第4週	月 あげぼの町
	火 南鷹巣
	木 鷹巣舟場
	金 前野団地

健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

◇ 乳児健康相談は、十八日、五十五年五月生まれとなっています。受付時間は、午後零時半から一時まで。

※場所は、いずれも鷹巣保健所

### へい獣処理場使用

### は届出が必要

町では、昨年より栄字徳左工門谷地(鷹巣墓地公園裏手)に、河川等への不法投棄をなくすためへい獣処理場を設置し、その利用者も増えています。

とところが最近、無届けによる利用者も多く、消毒、覆土しないまま放置しています。

利用者は、役場保険衛生課係に届出し、職員立会いのもとに処理するようにしてください。

### 結核検診

結核検診は、九月十七日から二十五日までの午前十時から、鷹巣公民館で実施します。

二十五日が検診の最終日となりますので、都合により各地域で受診できなかった方は、忘れずに受診してください。

検診料は無料です。

### 香典返し

このほど次のかたから、香典返しに町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽田中三沢勇悦さんから亡父熊五郎さんの香典返し

五〇,〇〇〇円

▽黒沢藤田久治さんから亡父久蔵さんの香典返し

三〇,〇〇〇円

### 慶弔だより

8月16日～8月31日

誕生おめでとうございます。

▽中畑山資次郎さんから亡父男忠則さんの香典返し 三〇,〇〇〇円

二人の前途を祝福いたします

土佐 直樹(昭嘉 二男) 舟見町 菅原 裕樹(講三 長男) 前野 成田ひろみ(博三女) 西仲通

- 宮腰絵理子(博秀 長女) 品類
- 佐藤 大文(文信 長男) 脇神
- 福田 光義(勇 長男) 藤株
- 工藤 博史(博行 長男) 米代町
- 三沢 至(信昭 二男) 昭和
- 成田 聡(正一 長男) 田中
- 田村 裕(正男 二男) 坊沢上町
- 成田 優美(正 長女) 緑ヶ丘
- 田中 達子(豊吉 二女) 東横町
- 中村 隼人(正春 三男) 舟場
- 千葉真友子(昭二 二女) 舟場
- 畠山 賀子(満二 二女) 小森
- 金持 直子(望 長女) 高野尻

おくりやみ申しあげます。 明石 巖(44歳) 明利又 成田 トミ(87歳) 綴子下町 藤田 久蔵(75歳) 黒沢